

デジタル時代の議会広報誌のあり方について



SideBooks アプリから
誰でも閲覧可能、掲載も無償



「ちいき本棚」は、自治体広報誌を無償で電子ブック化する東京インタープレイ株式のサービスです。



都道府県別に閲覧ができ、過去号が充実している記事を横断検索できるのも人気のポイントです



「ちいき本棚」での閲覧イメージ（表示は、「どうし議会だより」）

「ちいき本棚」の詳細は、P34 をご覧ください

デジタル技術の発展に伴い、自治体や議会の広報もWEBやSNSを活用した情報発信が主流になりつつある。しかし、その一方で、紙の広報誌が持つ価値は今も変わらない。特に、誰もが情報にアクセスできるかどうか（情報アクセシビリティ）の視点から見ると、紙媒体にはデジタルにはない強みがある。紙の広報誌は、インターネット環境がない人やデジタル機器の操作が苦手な人にも確実に情報を届ける手段となる。また、視覚的な読みやすさや、手に取って気軽に読める点も大きな魅力だ。さらに、フォントの

選定や色使い、レイアウトを工夫することで、より多くの市民にとって「読みやすく、わかりやすい」広報誌を作ることができる。デジタル時代だからこそ、紙の広報誌の意義を再考し、「開かれた議会広報誌」のあり方を探ってみよう。戦後、地方自治の発展とともに、議会広報誌は市民と議会をつなぐ重要な役割を担ってきた。特に、2000年施行の地方分権一括法を契機に「議会改革ブーム」が起こり、議会広報誌も政策の背景を伝えるメディアへと進化した。1986年には全国町村議連会が「町村

議会広報表彰」を開始し、広報誌の質の向上を促進。2013年には東京都あきる野市議会が広報誌をリニューアルし、これが契機となって多くの市議会が広報誌の見直しを進めるようになった。近年では、動画サイトとの連携強化を狙ったコードの活用や、読みやすさを意識した「ユニバーサルデザイン」を取り入れる動きも加速している。本稿では、全国から5つの議会を抽出し、住民との対話を深める議会広報の工夫とその成果について紹介する。

「あきる野市議会」からはじまった親しみやすい誌面づくり

岩手県七尾町議会

町村議会広報コンクルールの常連上位議会
「議会だよりの編集方針」を策定・公表



タイトル	いわいずみ議会だよりの
表紙のテーマ	紙面内容に関するもの
色彩	表紙4色・本文2色
一般質問レイアウト	2人/ページ
平均ページ数	19ページ
年間発行回数	4回
発行部数	4,600部
所要発行日数	30日間程度
編集主体(委員数)	広報広聴常任委員会(6名)
議員定数	14名
自治体人口数	7,861人

※内容はいずれも取材時のもの

QRコードをスキャンすると、
いわいずみ議会だよりのバック
ナンバーページが開きます。



山梨県道志村議会

村外への情報発信をも意識した編集方針
豊かな自然による四季折々の写真を掲載



タイトル	どうし議会だよりの
表紙のテーマ	村内名所や絶景ポイント
色彩	表紙・本文4色
一般質問レイアウト	1人/ページ
平均ページ数	14.5ページ
年間発行回数	4回
発行部数	800部
所要発行日数	20日間程度
編集主体(委員数)	広報常任委員会(4名)
議員定数	10名
自治体人口数	1,509人

※内容はいずれも取材時のもの

QRコードをスキャンすると、
どうし議会だよりのバックナン
バーページが開きます。



奈良県王寺町議会

MUD協会認定職員によるデザイン講習会
23年度にはコンクルールでダブル受賞



タイトル	おうじ議会だよりの あなたと議会をつなぐガイドブック
表紙のテーマ	特集に関する写真
色彩	表紙4色・本文2色
一般質問レイアウト	2人/ページ
平均ページ数	19ページ
年間発行回数	4回
発行部数	10,000部
所要発行日数	60日間
編集主体(委員数)	議会広報編集委員会(7名)
議員定数	12名
自治体人口数	23,706人

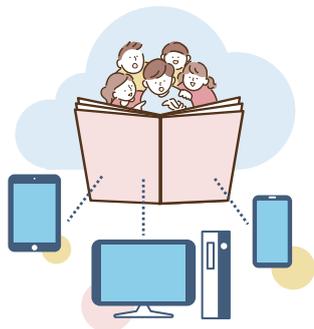
※内容はいずれも取材時のもの

QRコードをスキャンすると、
おうじ議会だよりのバックナン
バーページが開きます。



議会広報誌の進化と役割とは

近年、多くの自治体が住民の関心を高めるため、議会広報誌のデザインを工夫し、デジタルメディアとの連携を進めています。かつては議会の議論や決定事項を伝える「報告書」としての役割が中心でしたが、現在では住民との対話を促し、意見を反映させる重要なツールとしての機能が求められています。議会広報誌は、わかりやすい言葉やレイアウト、写真の活用、紙媒体とデジタルの組み合わせなど、多様な工夫が必要です。以前は議会事務局が主導して作成することが一般的でしたが、近年では議員自らが企画や取材に関わる動きも増え、住民との接点を広げています。さらに、SNSやウェブサイト、動画配信などデジタル技術を活用し、住民がアクセスしやすい形で発信することも重視されています。今後、議会広報誌は住民が議会活動に関心を持ち、より密接に関わるためのツールとして、ますます重要な役割を果たすでしょう。多様な住民を巻き込むことが、議会広報誌の購読率向上や、地域政治をより身近なものにする鍵となるのではないのでしょうか。



「町民参加で読みやすい議会だより」を目指し、平易な言葉遣いや簡潔な見出しを採用している。行政用語を避け、住民の声を積極的に取り上げること、親しみやすい紙面を構築している。また、定例会終了後30日程度の発行を目標とし、迅速な情報提供に努めるとともに、写真やキャプションを活用し、視覚的な分かりやすさを重視。さらに、議会ホームページと連携し、紙面では伝えきれぬ情報を補完する体制を整えている。議会報告にとどまらず、特集記事やシリーズ企画を導入することで町民の関心を高め、双方の広報を推進。こうした取り組みが評価され、町村議会広報コンクールでは2021年度に第1位、2022・2023年度には第2位を獲得するなど高い評価を受けている。紙媒体の強みを活かし、町民と議会をつなぐ役割を果たし続けている。

村内に横浜市の水源地を有することから、村外との交流人口を意識した情報発信に注力している。特に、「源頼朝伝説」に関わる写真を二号にわたり表紙に採用した際には、村外からの問い合わせが増し、観光活性化にも寄与したという。また、議員自らが取材や撮影に赴き、住民との対話を重視した広報活動を推進している。全頁を4色カラー刷りとし、春は桜や新緑、秋は紅葉など、四季折々の自然を意識した写真を多用することで、地域の魅力を視覚的に伝え、村内の関心を惹く工夫がなされている。さらに、住民参加型の企画を充実させ、地域イベントの記録や郷土史に関する特集を掲載するなど、単なる情報提供にとどまらぬ広報誌とすることで、議会と住民との結びつきを強め、地域社会の活性化に貢献する活動を継続している。

「メディアユニバーサルデザインアドバイザー資格」(MUD)を持ち、町広報誌改革に取り組んでいた職員が事務局へ異動したことを契機に議会だよりを刷新。ターゲットとコンセプトを明確にした編集方針を作成し、住民と議会をつなぐガイドブックのような紙面構成に。行政の公式LINEと連携し、本会議視聴数がりニューアル前の6倍に増加するなど、住民の関心向上に寄与している。また、2023年度の町村議会広報全国コンクールで入選(全国10位)、毎日新聞広報紙コンクール奨励賞を受賞。これにより視察来訪者が年間40団体を超えるまでに増加した。さらに、視察来訪者に研修を実施し、広報のノウハウを提供。高齢者や視覚障害者に配慮したレイアウトや配色設計など、実践的な工夫を共有し、広報の質の向上に貢献している。より分かりやすく、親しみやすい広報活動に向けて、町在りのイラストレーターと協力し、漫画仕立ての解説やデジタルを活用した住民アンケートを導入することを計画している。



視察内で実施する広報研修では、アドバイザー資格を持つ職員が、議員・事務局双方が持つべきユニバーサルデザイン思考の解説や、視察団体が発行する紙面の広報クリニックを行っている

宮崎県宮崎市議会

「宮崎市議会DX」が議会DXの新しいモデルとして注目
 マニフェスト大賞第18回躍進賞、第19回議会改革部門優秀賞受賞



タイトル	みやざき市議会だより
色彩	表紙・本文4色
一般質問レイアウト	4人/ページ
平均ページ数	12ページ
年間発行回数	4回
発行部数	108,000部
所要発行日数	40日間
編集主体(委員数)	広報広聴委員会(10名)
議員定数	40名
自治体人口数	393,680人

※内容はいずれも取材時のもの

QRコードをスキャンするとみやざき市議会だよりのバックナンバーページが開きます。



東京都あきる野市議会

議会広報誌リニューアルから12年全国議会からの視察が絶えない



タイトル	あきる野市議会だより 「ギカイの時間」
表紙のテーマ	巻頭特集に関する写真
色彩	表紙・本文4色
一般質問レイアウト	2人/ページ
平均ページ数	22ページ
年間発行回数	4回
発行部数	18,500部
所要発行日数	40日間
編集主体(委員数)	広報広聴委員会(7名)
議員定数	21名
自治体人口数	79,244人

※内容はいずれも取材時のもの

QRコードをスキャンするとあきる野市議会だよりのバックナンバーページが開きます。



表紙写真には、巻頭企画の取材時に撮影した写真を採用しているが、「誰が掲載されるかは発行後のお楽しみ」として、敢えて事前に公表しないようにしている



あきる野市議会だよりのリニューアル後の表紙(上)とリニューアル前の表紙(下)



表紙から続く特集ページで住民の声を紹介する

デジタル技術を活用した住民への情報提供と対話促進に積極的に取り組んでいる。2023年に開始した「宮崎市議会DXみやだん」では、スマートフォン対応の仕様を採用し、一般質問をイラスト入りで紹介するなど、視覚的に分かりやすい工夫を施している。紙媒体の議会だよりとデジタルの「みやだん」を連動させる仕組みも始めており、令和6年6月定例会より、みやだんにWEB限定記事を掲載し、紙媒体からデジタル媒体への積極的な誘導を図っている。また、令和6年9月定例会より、みやだん上で議会だよりの読者アンケートを実施し、市民からの意見を誌面制作に活かす取り組みもスタート。市民との対話を強化する手段として位置づけ、デジタルとリアルを融合させた先進モデルとして注目されている。

「読まれる広報誌」を目指してあきる野市議会の取り組み

あきる野市議会議員が視察で市外に赴くと、先方から「議会広報誌のリニューアル時は、あきる野市議会を参考にしたい」と言われることが多いという。白井議長は、「リニューアルから10年以上経ち、私自身はすでに『うちの手法も古くなった』と感じている。」と謙遜する。2013年にあきる野市議会が行った広報誌のリニューアルは、当時主流だったB4タブロイド判からA4判への移行を促す契機となり、現在では多くの市議会がA4判を採用している。この背景には、あきる野市議会の取り組みが全国的にも大きな影響を与えたのだ。

表紙から誌面へと自然に誘導する仕組みを構築し、読者の関心を引きつける編集方針を掲げ、表紙に登場した人物をそのまま第1頁にも掲載し、読者が違和感なく紙面を進められるよう配慮したという。もし、表紙の次にいきなり議案が掲載されていると、そこで読む気が失せてしまう人が増えると懸念したからだ。その上で、議案紹介頁へとスムーズに誘導し、読了率の向上を狙っている。また、対象層ごとに特集を変える手法も採用し、最終頁には、市内小学校の六年生を順次取材、地域ごとの話題喚起にもつなげている。これにより、世代間のつながりを縦軸、地域の広がりや横軸とする構造を形成し、地域全体の交流促進を目指すという考えに立っている。

あきる野市議会でも当初、議会広報誌のリニューアルには慎重派が多勢だったが、市役所で他市の広報誌と並べた市民投票で最下位となり、改革機運が高まった。議員と職員でプロジェクトチームを結成し、全国の広報誌を徹底調査。また、紙質をコート紙からマット紙に変更し、落ち着いた印象と手触りの向上を図った。印刷技術の進化により、紙を薄くしても品質を維持できるようになり、コスト削減にも貢献している。リニューアル後の市民調査では「読んでいる」との回答が2割に増え、「だいたい読む」層も半数を

超えるなど、大きな手応えを感じたという。白井議長は、「当初の編集方針を守りつつ、時代に合わせた進化が不可欠。他自治体の事例を参考にしながら改善点を見つけ、デジタル化にも注力しながら、より分かりやすく魅力的な誌面づくりを目指していく。」と語る。あきる野市議会の今後にも注目していきたい。



取材にご協力いただいたあきる野市議会白井建議長

No.48

きかせて！あなたの未来

あきる野市立小学校6年生が取り組む未来のまちづくり



田中 来実さん (一の谷小学校6年)

「未来は自分たちで決める。夢や希望を自分たちで描き、実現させる。未来のまちづくりは、自分たちで決める。未来のまちづくりは、自分たちで決める。未来のまちづくりは、自分たちで決める。」

次回3月定例会		議案を語る。		議会を見よう。	
21	22	議案の月、5月、8月、11月	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子
23	24	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子
25	26	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子
27	28	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子
29	30	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子
31	32	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子	議会の様子、議会の様子

議会を語る。
議会の様子、議会の様子

議会を見よう。
議会の様子、議会の様子

議会に参加しよう。
議会の様子、議会の様子

議会を語る。
議会の様子、議会の様子

議会を見よう。
議会の様子、議会の様子

議会に参加しよう。
議会の様子、議会の様子

あきる野市議会事務局 〒170-0001 東京都あきる野市200-1 2025年11月

あきる野市議会事務局

https://www.city.akiruno.tokyo.jp/